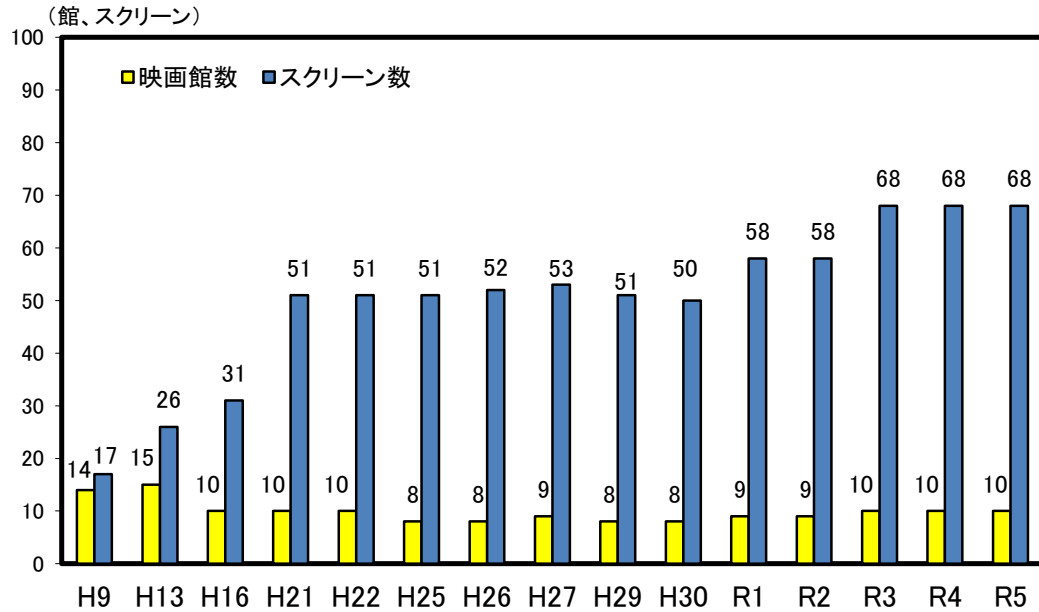


熊本県の映画館数、スクリーン数の推移



解 説

【概要】

令和5年の熊本県の映画館数（事業所数）は10館、スクリーン数68、座席数11,819席だった。

10万人当たりのスクリーン数は4.0、千人当たりの座席数は6.92といずれも全国平均を上回っている。

過去の推移をみると、映画館数は平成13年から16年にかけて15館から10館に減少し、以降はほぼ横ばいで推移している。一方でスクリーン数は平成9年から21年にかけて3倍に急増しており、一つの映画館に複数のスクリーンを持つシネマコンプレックスが増加したことがうかがえる。以降はおおよそ映画館数の増減とともに推移している。

○映画館

アトラクションのあるなしにかかわらず商業的に映画の公開を行う事業所をいう。主として映画館の賃貸を行う事業所も含まれる。（映画館、映画劇場、野外映画劇場、映画館賃貸業、ミニ・シアター、ビデオ・シアターなど）

※シネマコンプレックス：同一運営組織が同一所在地に5スクリーン以上集積して名称の統一性（1,2,3・・・、A,B,C・・・、等）をもって運営している映画館

○映画館数、スクリーン数、座席数は当該年の12月31日現在の数値。（平成22年調査までは、11月1日現在。平成23年から平成30年までは、7月1日現在の数値）

注：平成30年までは経済産業省「特定サービス産業実態調査」によるもの。

資 料 出 所	調 査 期 日	調査周期
「映画年鑑」（一社）日本映画製作者連盟	令和5年12月31日	毎年